様式 3-2

公　開　文　書

研究課題名 （研究番号 721）	直腸癌手術における術後短期成績の予測因子の検討
当院の研究 責任者（所属）	東　孝暁 （熊本市民病院　消化器外科）
他の研究機関 および各施設の 研究責任者	なし
本研究の目的	消化器癌は罹患率が高い疾患でありますが、集学的治療が進んできており、生存率が改善しつつあります。消化器癌の治療としては主に手術、化学療法、放射線療法が挙げられ、様々なエビデンスが蓄積されてきています。一方、根治を目指す治療として現在においても手術が第一選択となっています。今回、当院で直腸癌に対して、手術を施行した症例の短期成績の予測因子について検討します。これらの結果を明らかにすることにより、周術期の管理、術後合併症のフォローアップを是正するなど、臨床へのフィードバックが期待されます。
調査データ 該当期間	2019 年 11 月から　2025 年 4 月まで
研究の方法	2019 年 11 月から 2025 年 4 月に熊本市民病院にて消化器癌に対し、手術を施行した症例について、術後短期成績に関係する因子を検討します。
個人情報の 取扱い	匿名化されているもののうち、その記述単体で特定の研究対象者を直ちに判別できる記述等を全部取り除くような加工がなされているものを使用します。
本研究の資金源 （利益相反）	ありません

お問い合わせ先	熊本市民病院　消化器外科医員　東　孝暁 Tel:096-365-1711
備　　考	